



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 カンダホールディングス株式会社
 コード番号 9059 URL <http://www.kanda-web.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝又 一俊
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 原島 藤壽 TEL 03-6327-1811
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	29,791	8.2	1,405	17.6	1,414	21.3	823	△38.7
28年3月期第3四半期	27,537	4.9	1,195	32.2	1,165	32.7	1,343	171.9

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 893百万円 (△37.6%) 28年3月期第3四半期 1,433百万円 (166.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	76.51	—
28年3月期第3四半期	124.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	36,439	15,403	42.2
28年3月期	35,985	14,752	40.9

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 15,364百万円 28年3月期 14,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
29年3月期	—	10.00	—		
29年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	5.7	1,570	4.1	1,600	8.2	1,040	△33.5	96.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(注) 詳細につきましては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細につきましては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	11,654,360株	28年3月期	11,654,360株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	891,355株	28年3月期	891,293株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	10,763,052株	28年3月期3Q	10,763,067株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や雇用に回復の兆しが見られたものの、米国の新政権による経済政策の影響や新興国経済の減速等もあり、景気の先行きについては引き続き不透明な状況で推移しております。

物流業界におきましては、取扱量の減少が継続し、ドライバー等人手不足の影響によるコスト上昇など、取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、国内部門においては、主力業務であります物流センター業務代行、流通加工業務に注力し新規顧客の獲得に向け努力してまいりました。また、引き続き全ての不採算の営業所等を黒字化すべく「業績改善運動」に全社的に取り組んでまいりました。更に、新規業務として平成28年4月1日から新潟市内で買い物代行宅配サービス『はこびいまと』を開始致しました。

国際部門においては、株式会社ペガサスグローバルエクスプレスとニュースターライン株式会社を核として業務拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、一部既存のお客様のセンター業務の物量が想定以上に増加したこと、また、前期中に新設した4拠点（埼玉県久喜市、千葉県八千代市、群馬県伊勢崎市、神奈川県座間市）の業績が寄与し、営業収益は297億91百万円（前年同四半期比8.2%増）となり、営業利益は14億5百万円（前年同四半期比17.6%増）、経常利益は14億14百万円（前年同四半期比21.3%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期に有明営業所の一部土地売却に伴う特別利益の計上と岩槻物流センターの土地売却に伴う特別損失を計上したこと等により、前年同四半期比38.7%減の8億23百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、139億64百万円（前連結会計年度末は135億89百万円）となり、3億74百万円増加しました。受託現金の増加8億60百万円、商品の減少1億69百万円、リース投資資産の減少3億28百万円が主な要因です。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、224億75百万円（前連結会計年度末は223億96百万円）となり、79百万円増加しました。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、117億78百万円（前連結会計年度末は123億79百万円）となり、6億1百万円減少しました。受託現金等の増加に伴う預り金の増加9億18百万円、短期借入金の減少16億34百万円が主な要因です。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、92億58百万円（前連結会計年度末は88億54百万円）となり、4億3百万円増加しました。長期借入金の増加4億90百万円、リース債務の減少1億61百万円が主な要因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、154億3百万円（前連結会計年度末は147億52百万円）となり、6億51百万円増加しました。利益剰余金の増加5億86百万円、その他有価証券評価差額金の増加45百万円が主な要因です。

この結果、自己資本比率は1.3ポイント上昇し、42.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は、概ね計画通りに推移しており、前回発表（平成28年8月1日付）の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な不確定要素や今後の業況等により、実際の業績とは異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告書第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後の取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(連結子会社の四半期決算日等に関する事項)

連結子会社のうち、Pegasus Global Express (Thailand) Co., Ltd. 及びPT. Pegasus Global Express Indonesiaの第3四半期決算日は9月30日であります。当該四半期決算日の四半期財務諸表を用いて四半期連結財務諸表を作成しております。ただし、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,243,781	3,397,439
受託現金	2,419,173	3,279,460
受取手形及び営業未収金	4,576,301	4,712,994
商品	176,560	7,390
貯蔵品	18,375	22,630
リース投資資産	2,231,242	1,903,151
その他	946,485	652,163
貸倒引当金	△22,466	△11,130
流動資産合計	13,589,454	13,964,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,706,137	7,391,102
土地	9,621,273	9,614,557
その他(純額)	2,156,394	2,415,246
有形固定資産合計	19,483,805	19,420,906
無形固定資産	729,361	718,239
投資その他の資産	2,182,892	2,336,397
固定資産合計	22,396,059	22,475,543
資産合計	35,985,514	36,439,643
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,012,143	2,914,061
短期借入金	4,603,178	2,969,100
未払法人税等	274,025	337,280
預り金	2,488,321	3,406,363
賞与引当金	222,056	85,641
その他	1,779,364	2,065,563
流動負債合計	12,379,089	11,778,010
固定負債		
長期借入金	4,078,174	4,568,609
リース債務	2,356,507	2,194,781
役員退職慰労引当金	207,818	228,173
退職給付に係る負債	796,805	847,959
資産除去債務	35,090	35,355
その他	1,379,848	1,383,208
固定負債合計	8,854,245	9,258,088
負債合計	21,233,334	21,036,098

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,772,784	1,772,784
資本剰余金	1,620,968	1,629,352
利益剰余金	11,431,937	12,018,633
自己株式	△330,688	△330,742
株主資本合計	14,495,001	15,090,027
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	231,345	276,614
為替換算調整勘定	1,583	12,337
退職給付に係る調整累計額	△17,030	△14,404
その他の包括利益累計額合計	215,899	274,548
非支配株主持分	41,279	38,968
純資産合計	14,752,179	15,403,544
負債純資産合計	35,985,514	36,439,643

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
営業収益	27,537,360	29,791,266
営業原価	25,011,016	27,052,582
営業総利益	2,526,344	2,738,684
販売費及び一般管理費		
役員報酬	251,503	242,776
給料及び手当	352,652	356,074
賞与引当金繰入額	8,903	8,628
退職給付費用	12,834	12,049
役員退職慰労引当金繰入額	20,372	20,354
その他	684,717	693,535
販売費及び一般管理費合計	1,330,983	1,333,419
営業利益	1,195,360	1,405,265
営業外収益		
受取利息	1,511	1,117
受取配当金	27,258	26,946
為替差益	2,729	—
その他	59,198	56,146
営業外収益合計	90,698	84,210
営業外費用		
支払利息	107,401	60,458
為替差損	—	4,849
その他	12,927	10,166
営業外費用合計	120,329	75,474
経常利益	1,165,730	1,414,001
特別利益		
固定資産売却益	5,262,660	12,608
リース解約差益	—	4,794
特別利益合計	5,262,660	17,403
特別損失		
固定資産除売却損	158,533	8,225
減損損失	4,152,587	22,726
リース解約損	617	—
投資有価証券評価損	599	—
特別損失合計	4,312,338	30,951
税金等調整前四半期純利益	2,116,052	1,400,453
法人税等	770,528	576,408
四半期純利益	1,345,523	824,045
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,879	561
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,343,644	823,483

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	1,345,523	824,045
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74,927	45,268
為替換算調整勘定	9,126	21,945
退職給付に係る調整額	3,695	2,626
その他の包括利益合計	87,748	69,841
四半期包括利益	1,433,272	893,886
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,426,687	882,132
非支配株主に係る四半期包括利益	6,584	11,753

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。